

完治しない持病と思っていたリウマチ。
松本医院で完治に向けて治療中の方の手記。

「自分の遺伝子を信じてリウマチ治療 (経過報告)」 匿名希望 60歳

2015年7月28日

松本医院との出会いは、豊中市から茨木市へ引っ越して1年1ヶ月の頃でした。その時は、風邪をひき 喉を痛め、ひどくなりつつあったので、お使いで高槻市まで出掛け、ついでにどこかの病院(耳鼻科)に行こうと決めていました。病院を探しているとき、目に入ったのが松本医院の看板でした。持病でリウマチ(住んでいる茨木市の病院へ通院していました)があったので、看板に「リュウマチ」の文字があったことも松本医院を受診しようと思った一因です。

松本医院の診察室に入り、(投薬のこともあるので)持病のことについて話をすると、院長は「リウマチは完治する!!」とおっしゃいました。リウマチは完治することのない病気だと思っていたので驚きと同時に希望が見えました。さらに「貴方の免疫が治してくれる」と。初めて耳にする言葉でした。本当に完治するのなら・・・と。松本先生を信じて病院を変更しました。

その後、松本先生の指示通り2週間に1回診察とハリとお灸を受け、生薬とアシクロビルの投薬をされました。1か月に1回血液検査を受けました。その結果、3ヶ月頃リバウンドがきました。就寝時、左の肩と腕が痛み、腕が高くあげることができない!横になっても痛み眠れないので、腰掛けて、お灸をすえ続けました。漸次痛みが和らぎ、3日目には完全に手が上がり、肩の痛みもとれました。血液検査の結果 間質性肺炎のときに上がる SP-D が 112.2 になっていましたが、1ヶ月後には 85.8 と基準値になり、便秘もいつのまにか改善されていました。10ヶ月頃、左手甲と右手指の間が痒くなった!完治に向けて現れたアトピー!うれしくて診察が楽しみでした。その後、塗り薬と追加の生薬を処方されました。4~5日でアトピーはおさまりました。1年1ヶ月後、血液検査の結果、初診時 0.85 だった血沈は 0.05、リウマチ因子(RF)は 121 から 26 へと下がり、基準値になりました。

5年前に発症したリウマチの場所、右手根骨が一部損傷の為痛みますが、強く痛む時はお灸をします!痛む場所が少しずつ小さくなってきました。自分の免疫遺伝子を信じて根気強く治療を続けています。